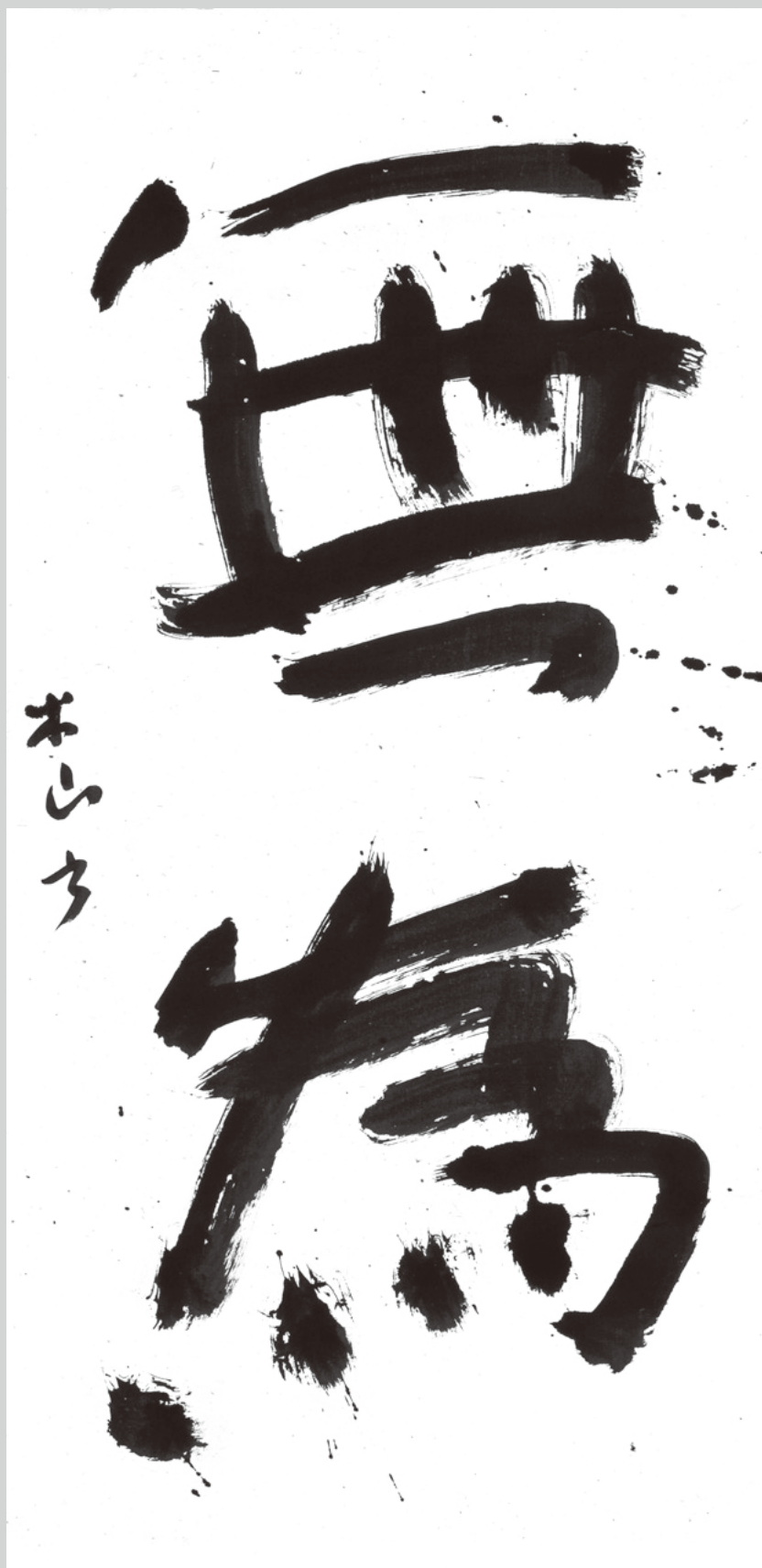


書道特別展

とてつもない書
— 米山の大字

べいざん



平成27年 6月20日(土) ～ 8月2日(日)

月曜休館(7月20日は開館、翌日休館)
開館時間 9時30分～17時

○講演会①

6月21日(日)13:30～14:20

講師：服部一啓(福岡教育大学准教授)

○講演会②

7月19日(日)10:00～10:50

講師：高橋利郎(大東文化大学准教授)

※往復はがきに、住所・氏名・電話番号・米山展講演会(①②の別を記入)をご記入の上、文学書道館までお申し込みください。無料です。

○作品解説①

6月21日(日)14:40～15:40

講師：服部一啓(福岡教育大学准教授)
武田英三(三輪田米山顕彰会)

○作品解説②

7月19日(日)11:00～12:00

講師：高橋利郎(大東文化大学准教授)

※①②とも講演会場で行います。申込不要で無料です。

○展示解説

7月12日(日)11:00～11:50

講師：高澤浩一(二松学舎大学教授)

※展示室で行います。申込不要ですが観覧券が必要です。

主催：徳島県立文学書道館

特別協力：大阪新美術館建設準備室

協力：三輪田米山顕彰会

後援：徳島県教育委員会・徳島新聞社

四国放送・NHK徳島放送局

○観覧料

一般510円(400円)／高校・大学生350円(280円)

小・中学生250円(200円)

()内は20名以上の団体料金。小・中・高校生は土・日・祝日・夏休み期間中は無料です。高齢者(65歳以上)と障害者手帳をお持ちの方は半額です。

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

電話 088-625-7485 FAX 088-625-7540

URL <http://www.bungakushodo.jp>

三輪田米山書「無為」(大阪新美術館建設準備室蔵)

伊予・松山の神官、三輪田米山(みわだべいざん 1821～1908年 文政4～明治41年)の書を展観します。米山は、旧来の書や造形主義的な書を開拓していった近代にあって、異端といえるものでありました。これまでの書法にとらわれず、また時代の潮流の影響を受けず、古今類のない独創的な書を残しました。長年の修練によって得た巧をまるで拙であるかのように書き、その凄まじい線と形は、紙面を押し、絶対的な存在感があります。米山の書は、書としての根源的な主張や魅力を強烈に発したものです。

本展では、その米山の“とてつもない魅力”あふれる大字作品37点を紹介します。



「雲眠」 一三一・〇×五九・五 cm



「為善・為善」 各一五七・〇×五五・〇 cm



「頤光山林」 一三三・七×六〇・二 cm (大阪新美術館建設準備室蔵)



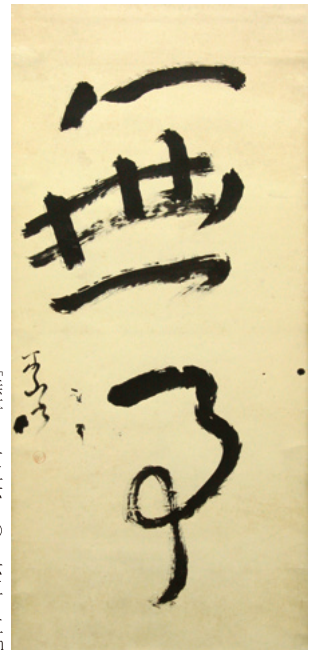
「万物出乎無有」 一三四・九×四九・六 cm (大阪新美術館建設準備室蔵)



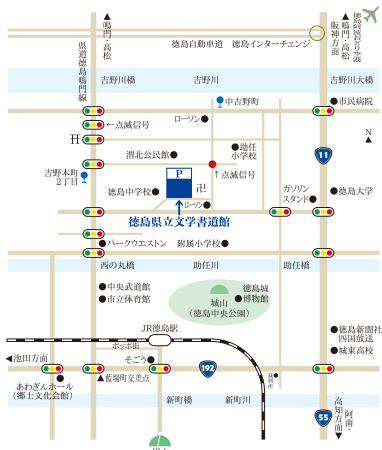
「思無邪」 一三〇・二×六三・三 cm



「金声而玉振」 一三四・三×六二・五 cm



「無事」 一三六・〇×六三・五 cm



●交通アクセス (JR徳島駅から)

徒歩 約15分
JR徳島駅西側のポッコ街を抜け右折します。踏切と助任川を渡り、3つめの信号交差点を右折し約300m。徳島中学校東隣。

バス
〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車し「吉野本町2丁目」下車、徒歩約5分。
〔徳島バス〕2番乗り場「前川経由」に乘車し「吉野本町2丁目」下車、徒歩約5分。

タクシー・自動車 約5分
国道192号線、藍場町交差点を北進、助任川を渡り4つめの信号を右折し約300m。
当館北側に駐車場があります(43台・大型バス2台)。

●書道特別展のお知らせ

[小坂奇石の大作展]

10月3日(土)～11月11日(水)

講演会10月25日(日) 13:00～13:50

講師：山本大悦(璞社副会長)

作品解説10月25日(日) 14:10～15:00

講師：江口大象(璞社会長)

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

電話 088-625-7485 FAX 088-625-7540

URL <http://www.bungakushodo.jp>